

洋画家の三岸節子が大磯にアトリエを構えてから、令和6年で60年が

経ちます。郷土資料館では、このことを記念して、企画展を開催します。

問 郷土資料館 ☎(61)4700



画家 三岸 節子 (1905~1999)

三岸節子は、明治38年(1905年)に小信中島村(現・愛知県一宮市)に生まれました。洋画家になることに反対した両親を説得して16歳で上京、大正14年(1925年)には、春陽会第3回展において、20歳で女性初の入選を果たすなど、早くからその才能を開花させました。

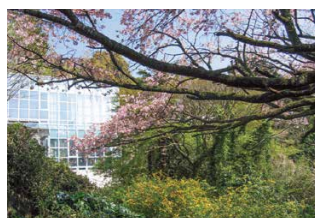
大正13年(1924年)に画家の三岸好太郎と結婚。昭和9年(1934年)に好太郎が亡くなった後は、3人の子どもを育てるために、挿絵や座談会など、様々な仕事をこなしました。

平成6年(1994年)には、女性洋画家初の文化功労者となりました。

大磯のアトリエ

節子は、画業初期の頃、夫の好太郎が設計した鷺宮(現・東京都中野区)の住居兼アトリエで制作に励み、昭和32年(1957年)からは軽井沢の山荘で過ごしました。その7年後、昭和39年(1964年)に、大磯町に転居します。

さらに4年後、フランスに渡り、カーニュやヴェロンで20年余り暮らしますが、帰国してからは亡くなるまで大磯で過ごしました。



大磯のアトリエと山桜の大木



大磯のアトリエにて(1970年代)

“私は大磯に移り住んで太陽画家となった”

節子が自らの著書に記した言葉です。息子の黄太郎に勧められて大磯町を訪れた節子は、一瞬で大磯の環境を気に入り、案内された土地を購入します。太陽の日差しが降りそそぐ大磯のアトリエを、節子は「太陽の家」と呼び、大磯の自然を舞台に風景画へと開眼していきました。

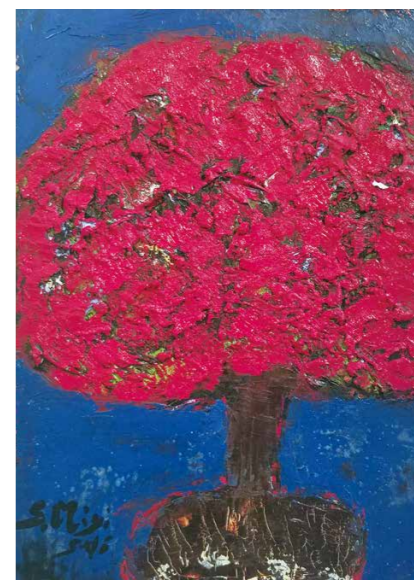
大磯にアトリエを構える前の節子は、フランス画家の影響を受けて室内画や動物画を描いていましたが、大磯にアトリエを構えたことによって、画風が大きく変わったこととなります。

自分自身の花を描く

三岸節子は、多くの花を描いた画家としても知られています。大正14年(1925年)の春陽会第3回展において入選を果たした際の出品作も、自画像、花、静物、風景であり、花の作品が含まれています。

節子は花を見たまに描くのではなく、実体を捉え、自分の中で消化し、花よりもいっそう花らしい、自分自身の分身として描きました。

大磯で過ごした最晩年は、左半身が不自由となりましたが、ヘルパーや黄太郎にキャンバスを動かしてもらい、布に絵具をつけて、花びらをひとつひとつ描いていったそうです。



花(1997年)



海にのぞんだ窓(1964年)



大磯風景(1965年頃)



さいたさいたさくらがさいた(1990年代)



大磯の庭(1970年代)

※作品及び写真は全て高輪画廊所蔵©MIGISHI

三岸節子の出身地、一宮市には、生家の跡地に一宮市三岸節子記念美術館があります。今回の企画展では、同館に企画・構成のご協力をいただいています。

同館では、子どもたちにもっと美術館や三岸節子の作品に親しんでいただくことを目的に、令和2年から三岸節子の自画像をモチーフとしたマスコットキャラクター「せっちゃん」を紹介しています。

郷土資料館の企画展でも、せっちゃんが活躍する予定です。お楽しみに!



一宮市三岸節子記念美術館
マスコットキャラクター
せっちゃん
デザイン：山下はたる
(株式会社マスター)

せっちゃんプロフィール

三岸節子20歳の自画像から飛び出したキャラクター。

名前 せっちゃん(本名:三岸節子)
職業 画家のたまご
誕生日 明治38年1月3日
年齢 永遠の20歳(自画像が描かれたときの年齢)
出身地 愛知県一宮市
好きなもの 花、とくに白い花
好きな食べ物 寿司、うなぎ、甘いもの
趣味 読書、オシャレ、ヨーロッパ旅行、植輪コレクション

郷土資料館 企画展 「三岸節子と大磯」

企画展では、三岸節子の作品を展示することによって、その業績を紹介するとともに、作品のモチーフとなった資料や画材、愛用品などをあわせて展示します。

- ▶ **とき** 令和6年1月27日(土)～2月25日(日)
- ▶ **ところ** 郷土資料館 企画展示室
- ▶ **観覧料** 大人500円、中高生200円、小学生以下無料
- ▶ **休館日** 毎週月曜(2月12日は開館)
2月1日(木)、13日(火)
- ▶ **開館時間** 9時～17時(入館は16時30分まで)

講演会

三岸節子のご令孫・三岸太郎氏と一宮市三岸節子記念美術館学芸員の野田路子氏による対談を行います。

- ▶ **講師** 三岸 太郎 氏、野田 路子 氏
 - ▶ **とき** 令和6年2月4日(日)13時30分～15時30分
 - ▶ **ところ** 郷土資料館 研修室
 - ▶ **定員** 60名(申込不要、先着順)
定員を超えた場合、立ち見となります。
 - ▶ **参加費** 無料
- 問 郷土資料館 ☎(61)4700